

サイエンティフィック・システム研究会
教育環境フォーラム 2020
「オンライン活用で教育の未来を切り拓く -
コロナ禍で変わった、学び・働く環境-」
2020/9/14



HIROSHIMA UNIVERSITY

【ライトニングトーク】

大学の国際化と I C T 利用促進に パンデミックがもたらしたパラドキシカルな展開

広島大学 副理事（国際企画）
人間社会科学研究科・教育学部 教授
丸山 恭司



パンデミック前の広島大学

広島大学FACTS

- 緑豊かな東広島メインキャンパスほか、広島市内に二つのキャンパス
- 12学部、4研究科
- 学部生：10,500人 大学院生：4,500人 留学生：3,000人
- スーパーグローバル大学創生事業タイプA

国際化数値目標

- 受入：1,870人(2016); 3,600人(2023)
- 派遣：620人(2016); 1,000人(2023)

→ 順調に目標達成

ICTの教育利用状況

- LMSは利用できるけれども
- PC必携ではあるけれども
- MS Teamsは使えたはずだけど
- Zoomは面白そうだけど

← 「必要を感じない」 がブレーキ





パンデミックが広島大学にもたらしたものの

大学全般への影響

- 卒業式、入学式の中止
- キャンパス閉鎖
- 出張不可

国際化関連

- 出入国制限
- 短期留学プログラムの中止
- 正規留学の辞退
- 国際会議の取り止め
- 帰国した外国人教員の入国不可

教育関連

- 対面授業の中止

➡移動と接触が不可

- 遠隔授業の提供
- Bb9、MS Teamsの普及

- COIL (Collaborative Online International Learning)
- VE (Virtual Exchange)
- おしゃべりルーム





パンデミックがもたらしたパラドキシカルな展開

- パンデミックが起きる
- 教育も国際化もストップ
- 所有はしていたが利用はしていなかったICTを活用
- 新しい教育が進む（「慣れ」というブレーキ解除）
- 新しい国際化が進む（「移動」というブレーキが解除）



PHOENIX
HIROSHIMA
UNIVERSITY

